

## 「サステナビリティ」と「BCP（事業継続性）」を追求した、 “人と地球にやさしい”最先端の拠点づくり。

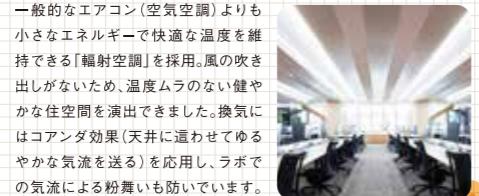
私たちキミカは、天然の海藻からアルギン酸を抽出して供給する国内唯一のメーカーです。天然素材を扱う企業だからこそ、環境に配慮しなければいけない。オンラインリーフン企業だからこそ、供給責任を果たし続けなければなりません。この使命感を分かち合う仲間と議論を重ね、新社屋には様々な工夫を盛り込みました。

### Sustainability[サステナビリティ]

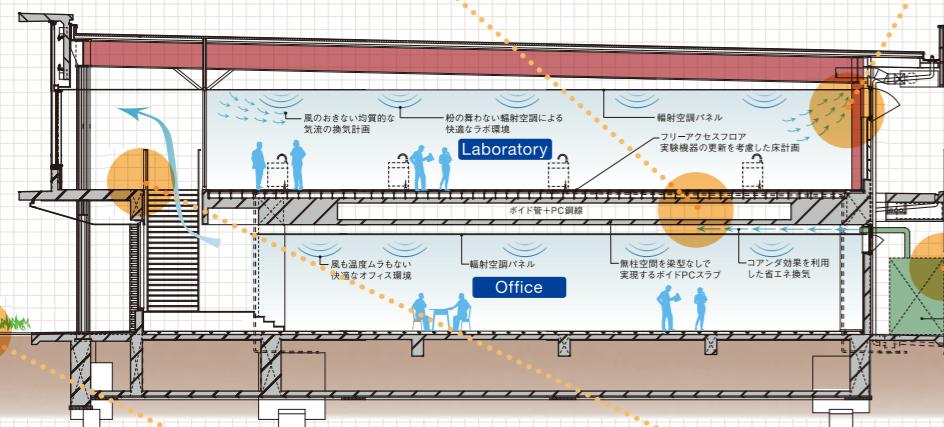
#### 1 大空間を「面」で支える、 ボイドPC工法



#### 2 温度ムラのない 健やかな空間をつくる、輻射空調



一般的な工法では、室内に柱が出てしまいます。けれども1.2階をつなぐ床に「ボイドPC工法」を採用することで、1階は18m、2階は22mも柱を飛ばすことに成功。巨大なブルームオフィス、ワンルームラボは、社員の一体感を生むだけでなく、空調効率を高める役割も果たしています。制振性能に優れた分厚い床は、ラボの測定精度も高めます。



#### 3 「海藻残渣」の肥料が育む 広々とした緑地



建物前面のフェンスを取り払い、広々とした緑地を地域に開放しています。その芝生を育む肥料には、海藻からアルギン酸を抽出したあとに残る「海藻残渣」を利用。天恵の資源である海藻を余すことなく利用する「もったいない精神」は、創業から80年間受け継がれてきた当社のDNAです。

#### 4 「三重窓」が叶える、 陽光がそぞろ開放的なラボ



ダブルスキン窓の内側にブラインドを設置、その内側にガラスをはめ込んだ三重窓で断熱性能を飛躍的に高めています。さらに、ブラインドの自動昇降で直射日光を遮断し、屋外からの熱と紫外線の侵入をシャットアウト。景色を望む開放的なガラス張り空間と、安定した試験環境を両立させました。

#### 5 地下水の“熱”を活用し 環境負荷を大幅低減



輻射空調の熱源に、地下水を活用しました。冬は地下水から熱を取り出し、夏は地下水に熱を吸収させるというアイデアで、一般的な空調システムと比べると50%以上も環境負荷を低減させることに成功しました。

### Awards [受賞歴]

キミカのサステナブルなビジネスモデルは、高い評価を受けています。



この建物のエネルギー消費量 **41%**削減  
2023年6月1日交付国土交通省告示に基づく第三者認証

### Access [千葉プラント(キミカ本館)] 〒293-0001 千葉県富津市大堀1029 [本社] 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-1-1

[アクセス] JR内房線「青堀駅」徒歩10分、「君津駅」タクシー15分

\*バスターミナル東京八重洲より、君津駅・青堀駅行きの高速バスも運行しています

### Business Continuity Plan

#### 【災害対策】

##### ✓ 停電に備える電力バックアップ

通常の太陽光発電は停電すると発電が止まってしまいます。けれども、キミカの太陽光発電は停電中も自律的に発電を続けるシステムとなっています。大容量の非常用発電機も併設し、停電中も事業の継続が可能です。

##### ✓ 水害に備える配置計画

水害に備えて、千葉プラントは敷地全体を60cm底上げしています。さらに、ラボと電気室を2階に配置することで、大切な測定装置や機械、データを浸水の被害から守る工夫をしています。

##### ✓ 地震に備える軸体構造

しっかりとした鉄筋コンクリート造(1階)と軽量な鉄骨造(2階)を組み合わせることで、法定を上回る耐震性能を付与。通常よりも5倍も分厚いコンクリート構造(ボイドPC工法)で揺れに強い屈強な建物を実現しました。

##### ✓ 大切な命を守る避難動線

社員の安心と安全はキミカの最優先事項。建物のどこにいても、有事の際には安全に避難ができることを「避難安全検査法」によって検証しています。

新社屋 [キミカ本館] 竣工記念 [設計]類設計室 [施工]大成建設

# KIMICA One World

キミカがひとつになる。  
世界で一番になる。



★★★★★ BELS認証(建築物省エネ性能表示)五つ星 獲得

# KIMICA

## One World

キミカがひとつになる。  
世界で一番になる。



Keyword 2 [共創を叶えるオープンラボ]

“お客様と共に”高品質な製品づくりを追求する。



陽光そぞぐオープンな実験スペース。研究者たちが心地よい環境でのびのびと実験できるよう、常識を覆すガラス張りのラボを創り上げた。



プロ仕様の調理設備が並ぶ食品アプリケーションラボ。お客様を招き入れて、アルギン酸の用途を開発する。

2階のラボも、視界を遮るものがないワンフロアに。一般にラボスペースは閉塞的になります。そこをあえて全面ガラス張りにすることで、開放的な空間に仕上げました。縁側風の廊下を挟んだ向こう側には三重構造の全面ガラスが一面に広がり、青空と緑の景観が広がります。機器分析室・微生物試験室(クリーンルーム)・GMP試験室などは機能別に区画分けすることで、管理の行き届いた研究環境を実現。さらに「食品アプリケーションラボ」にはプロ仕様の製麺・製パン設備を揃え、100名収容可能なセミナールームも併設。お客様に伴走しながら、より良い製品づくりを行える施設となっています。

2022年11月、オフィス・研究開発ラボ・品質管理ラボ・福利厚生施設を集約した新社屋「キミカ本館」が竣工しました。創業80周年を機に始まった一大プロジェクトの完遂により、執務エリアの広さは3倍に、研究エリアは4倍に拡充されています。

新社屋では、ポストコロナ時代の多様な働き方と、新たな事業展開に柔軟に対応できるよう、22m×70mのダイナミックな大空間を創出。組織の壁を取り払う、巨大なワンルームオフィスとワンルームラボの誕生により、全社一丸となって世界をリードするための基盤が整いました。数多くの環境賞を頂いている企業として相応しいよう、社屋には環境性能に優れる様々な先進技術を導入し、災害時の事業継続性(BCP)を高めるための工夫も詰め込まれています。

私たちキミカは、人と地球にやさしい新拠点で、アルギン酸の可能性を追求し、お客様の声に応え続けます。

Keyword 1 [コミュニケーションを活性化する環境づくり]

組織の壁を取り払い、“想いをひとつにする”オフィス。

新社屋でもっとも特徴的のは「一体感を生みだす、柱のない大空間」です。1階のオフィス・2階のラボを含めて、物理的な壁を取り払うことで、より活発なコミュニケーションを可能にしています。中央にメイン階段を配置した回遊性の高い繋がりのあるフロア設計により、これまで別々の場所で働いていた生産・研究・管理部門が垣根を越えてひとつになり、日頃から気軽にコミュニケーションできるようになりました。



常識を覆すダイナミックな構造設計により生み出された、最大22m×70mの無柱空間。



コミュニケーションのハブとなる、建物中央の内階段。踊り場には気軽に使えるミーティングスペースも。



イノベーションは何気ない日常会話から。食堂も広々とした大空間を創り上げた。

Keyword 3 [地域社会への貢献]

みなさまに愛される、“街のシンボル”をめざして。

私たちは創業時から、地域との共生を大切にしてきました。新社屋完成後、真っ先に開催したイベントも地域住民を対象とした内覧会でした。敷地前面にはあえてフェンスを設けず、広々とした緑地を地域に開放しているのも、地域貢献への想いから。生産エリアはセキュリティを考慮しながら、みなさまへ“目に見える安心感”を高める工夫も。地域の子供たちを招き入れ科学実験教室を開催することも構想しています。



「街を明るくしたい」という社員の声から生まれたライトアップ。上品に建物が浮かび上がる様子は近隣からも評判。

## 新社屋「キミカ本館」

## 5つの CONCEPT

新社屋のコンセプトは、すべてキミカ社員の声が起点となって生みだされています。みんなの想いを設計に反映するため、独自のワークショップ「共創スタジオ」を開催し、“みんなで創り上げる新拠点”をめざしました。



人を魅きつける「みんなのキミカ」で世界へ。街のシンボルとして自慢できる会社に



KIMICA  
One  
World

World  
世界で戦うインターナショナル  
カンパニーに相応しい  
風格を感じられる新拠点に。

One  
一体感をつくりだす  
オーブンな大空間で、  
挑戦し続けるDNAを継承する。

Productive  
堅実な機能重視・高能率な執務環境。  
組織の壁を取り払い、  
生産性を高めるハブに。

Clean  
食品・医薬品メーカーに相応しい  
清潔感と、天然素材を扱うに  
相応しい環境配慮。

Flexible  
将来の拡張性を見据えた  
フレキシビリティと、  
様々にリスクに備えたBCP。